

美浜町社会福祉協議会

でんでんむしの家

令和3年度 小規模多機能型居宅介護サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー

5人

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	0人	0人	5人

前回の改善計画

- ・毎日の朝礼を必ず行き、些細な情報もその場で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・朝礼を必ず行うよう、意識して取り組めた。
- ・利用者の様子によって朝礼を行えない日もあった。
- ・朝礼前でも必要な申し送りは各職員で行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	4	1	0	5
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	4	1	0	5
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	4	1	0	5
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	4	1	0	5

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人や家族のニーズなどの情報を共有し、支援に繋がられている。
- ・朝礼や伝達以外でも介護記録や申し送りノートから情報を得られた。
- ・利用開始間もない時期は特に関係性を築く為、会話など時間を作っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・業務や利用者の状態で朝礼ができない日や短時間で済ませる日があり、重要な点のみの申し送りとなっている。
- ・朝礼や申し送りでは些細な内容が伝達できていない。
- ・朝礼や申し送りではその場やその日の内容のみとなり、利用者や家族の変化について前後がわかりにくい。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・利用者や家族の変化を介護記録にしっかり残し、出勤後は必ず目を通す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12日(18:25~18:45)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 5人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	3人	0人	5人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・普段の関わりの中から、目標や希望を聞き取れるよう意識し雰囲気作りを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・利用者の目標や希望を聞き取れる関わりを意識して取り組めた。・訪問や入浴、送迎車の中など利用者とはゆっくりと会話できる場面で関わりが持てた。・利用開始間もない方の目標や希望の聞き取りが難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	1	4	0	5
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	3	2	0	5
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	1	4	0	5
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	3	2	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・日々の関わりの中で利用者のやりたい事を聞き、外出等のサポートができた。・利用者が希望する在宅での調理や草刈り、畑作業に必要な買い物支援を行えた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者によって関係性が築けておらず、ニーズの把握ができていない。・「～したい」や目標を聞くことができたが、業務に流され支援に繋がれなかった。・利用者全員の目標や希望の聞き取りができておらず、把握できていない。・利用者の目標や希望を聞き取れてもプランに反映できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ライフサポートプランを再度、勉強し理解する。また、担当の利用者の「～したい」を知る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12日(18:45~19:09)

3. 日常生活の支援

メンバー 5人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	0人	0人	5人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">朝礼で得た情報はできる限り細かく伝える。また、記録から得た情報で不明な点は記録者に直接尋ね確認を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">朝礼以外でも職員同士で情報共有できている。記録で不明な点等を直接聞く等で伝達できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	5	0	5
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	5	0	0	5
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	3	2	0	5
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	3	0	0	5
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	4	0	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">些細な変化も情報として共有する意識を持ち、支援に繋げている。職員同士の伝達を行い、チームとして支援に繋げている。本人の訴えや精神状態から少しでも疑問に感じた事を傾聴するよう心がけた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">以前の生活が理解、把握できていない。利用開始間もない方の在宅での様子や地域との繋がりが把握できていない。会話の中から得た情報を記録に残せておらず、共有できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">会話で得た些細な情報でも記録やノートに記入し共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12日(19:09~19:37)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 5人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	3人	2人	5人

前回の改善計画	・各地区の民生児童委員、福祉委員、繋がりのある方の顔や家を把握しておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・訪問で会ったりする等で関わりのある方はいるが、ほぼ関わる機会がない。 ・顔がわかる方はいるが家等は把握できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	2	1	5
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	3	1	1	5
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	1	1	5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	2	1	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の会話の中から情報を得る事ができた。 ・利用者に関わりのある地域の方とは挨拶や会話をして関係性ができている。 ・全ての支援を事業所のみで行わないよう、家族や地域資源を意識している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・以前の地域との繋がりがあった姿を知らず、地域との関係性が把握できていない。 ・民生児童委員や福祉委員と関わる事がなく、地域資源についても把握できない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・各利用者の地域で繋がりのある方(友人、近隣の方、民生児童委員、福祉委員)を知り、共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12日(19:43~19:55)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 5人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	5人	0人	5人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・小規模計画書ファイルを常に申し送りノートと一緒に保管し、常時確認できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・当初は申し送りノートと一緒に置いてあったが、いつの間にか置かなくなった。・計画書を細かく見る事ができなかった。時間がなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	0	5	0	5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	5	0	0	5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	3	1	0	5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	4	1	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者や家族と相談して、本人の生活に合わせた通い・訪問・泊りが提供できた。・朝礼等で情報共有した内容から、体調不良や精神的不安などに対し訪問追加の対応をチームで行なえた。・精神的に不安な利用者に対し、夜間の訪問や突発的な訪問希望にも対応した。・利用者の状態を把握できるよう記録に目を通すよう心がけた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域資源の把握ができていない為、地域資源を活かしたプラン化に繋がっていない。・業務が忙しく、記録や計画書をしっかりと確認できていない。・内部会議にてプランに沿った検討ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・内部会議にて計画書を広げ、確認しながら各利用者の支援について検討を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12日(19:55~20:06)

6. 連携・協働

メンバー 5人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	2人	2人	5人

前回の改善計画	・各職員が参加した活動や会議、行事の目的や意味、内容を他の職員に伝え共有する。(継続)
前回の改善計画に対する取組み結果	・各会議に参加した際に事業所や職員にとって必要な内容は伝達している。 ・事業所内の取り組みについても各職員同士や申し送りノートにて伝達できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	0	1	4	5
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	0	4	5
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	0	4	5
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	3	1	1	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・各職員で役割があり、役割に合った会議に参加できている。 ・会議に参加した職員からの報告を受けている。 ・近隣の子どもやご寄付を頂いた地域の方が事業所を訪れている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・会議に参加する役割を担っていない。 ・コロナの影響でイベントが中止になったり、積極的に事業所に訪れてもらう働きかけができなかった。 ・業務が忙しく、会議に参加できなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・可能な限り各職員の担当利用者の担当者会議に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12日(20:06~20:26)

7. 運営

メンバー 5人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	5人	0人	5人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログや家族向けのお便りで事業所の様子を知ってもらう。運営推進会議の内容を内部会議等で確認を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログ更新や家族向けのお便りを定期的に発行できた。 ・運営推進会議の報告書は見ている。 ・運営推進会議の内容は伝えるべき内容は内部会議にて報告できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	0	4	1	5
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	2	3	0	5
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	2	1	2	5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	3	2	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や家族からのご意見の聞き取りができた。 ・運営推進会議にて頂いた意見から看板の移設など反映できた。 ・利用者からの意見を内部会議等で共有し、対応した。 ・家族からの意見を共有し、改めて話す時間を設ける等の対応ができた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域の方と協働した取組みができない。機会がない。 ・事業所を活用した地域の取組みである青空喫茶やおしゃべりサロンが中止となった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であっても感染対策を十分に行い、地域の方と繋がりが持てる方法を探す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12日(20:25~20:43)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 5人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	1人	0人	1人	5人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">内部研修にて各職員が講師役を務め、深く学べる機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">内部会議にて各職員が講師役として研修を行った。講師を担い資料の作成等の準備をすることで資質の向上に繋がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	3	0	0	5
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	0	2	5
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	4	5
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	0	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">職場内での研修に参加できた。オンラインではあったが外部の研修に参加できた。リスクマネジメントに取り組み、職員同士でも共有ができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">職員体制もあり参加できない研修があった。研修案内を職員間で周知できていなかった。研修参加について時間的な問題やオンラインでの開催について積極的ではなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">年間を通じて内部研修のテーマを決め、各月で各職員が講師役を務めテーマに沿った研修を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12日(20:43~20:53)

9. 人権・プライバシー

メンバー 5人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	0人	0人	5人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・利用者の立場に立ち、プライバシー保護の意識を高める。また職員間で注意し合える環境をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・ハード面やソフト面においてプライバシー保護に努めることができた。・利用者の立場に立つよう意識している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	5	0	0	0	5
②	虐待は行われていない	4	1	0	0	5
③	プライバシーが守られている	1	4	0	0	5
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	0	5	5
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	3	0	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者本人の心情を考えながら言葉遣いや接し方を考慮した対応を行った。・可能な限りの個人情報の管理を行った。・利用者の中で他の利用者の話をした際、職員間で注意し合える関係性ができていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者本人の前で職員に伝達した事があった。・利用者の居る近くで申し送りや伝達を行い、プライバシーが十分に守られる環境にない場合がある。・排泄介助の際、定時の誘導を優先して本人の意思を尊重できていないと感じる場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・利用者の立場に立ち、プライバシー保護の意識を高める。(一部継続)	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人	代表者	乙見 康夫	法人・事業所の 特徴	当事業所は民家を改修した建物で家庭的な雰囲気を大切にしており、地域に溶け込んだ佇まいで、地域との繋がりを重視している。利用者が今まで築いてきた地域や家族の中でひとり一人が望む暮らしが出来るように、必要に応じて機能を活かせる支援をしている。 また、家族ともコミュニケーションを多く持つようにし情報を共有するとともに、家族を支援することも意識している。
事業所名	でんでんむしの家	管理者	池田 直暁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	1人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価を元に月間の事業所目標を決め、目標に沿った取り組みを行い内部会議にて振り返りを行う。また、運営推進会議にて共有し意見をもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の中で出来ている点、出来ていない点が明確になっていた。 通いや訪問が多い中で職員は大変だと思う。 外部から見て評価するには細かな部分で分からない点が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であり、地域との関わりや繋がりが少ない事がわかった。また、職員が少ない機会の中で地域との繋がりを持つとする姿勢が感じられた。 コロナ禍の状況で地域との繋がりを持つ方法が現在の状況では分からないが、意識を持つことは大切だと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価、外部評価を職員間で共有する。また、内部会議等で定期的に改善計画への取り組みについて確認を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の玄関前の花や植木を絶やさず立ち寄りやすい雰囲気作りを行う。また利用者が作成した作品や日用品を地域の方に使ってもらえるよう、一緒に配るなど支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 不快な臭いもなく清潔が保たれている。 運営推進会議にて利用者と玄関前の花の世話をしているとの報告があり、改善計画を利用者と一緒に取り組んでいる事が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画の中の利用者と一緒に配るとあるが、コロナの影響もあり出向けない状況だと思う。コロナが落ち着けば、そのような取り組みも行うと良いと思う。 玄関前がスロープ状に改修されていたので安全に配慮している事が感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関前の花や植木を絶やさないよう、利用者と一緒に管理を行い立ち寄りやすい雰囲気作りを行う。また、でんでん図書館を継続していき地域の方が訪れやすい取り組みを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の看板の位置の検討を行い、見えやすく工夫する。また、散歩など出来る限り利用者と地域の中に出向き、地域との繋がりを維持していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 看板の移設も行い、見えやすくなった。 立地区の住民は事業所の事は知られていると思う。 職員は挨拶もしっかりできており、雰囲気も良い印象がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 西郷地区の中で立地区以外の住民はあまり知られていない。 民生児童委員として住民から相談された際、事業所に相談したことがあった。直接、住民から相談できると良いと感じた。 お便り等でPR出来る方法を考え 	<ul style="list-style-type: none"> お便りやブログを定期的に作成して住民に事業所を知ってもらう。また、お便りの区長への配付依頼や民生児童委員、福祉委員への配付を職員で分担して行い職員の顔を知ってもらう。

			ていけると良い。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 福祉委員会や運営推進会議にて得た情報を内部会議の場で共有する。また、各地区の福祉委員会にパンフレットを持参し当事業所が地域の拠点である理解を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 各福祉委員会に参加している様子がわかる。 地区の福祉委員会を事業所で開催しているので地域の福祉委員との関わりが持てている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の報告にて、外出や買い物支援を行っている様子がわかる。 各地域の行事が中止になっている状況が続いている中で職員が地域に出向く方法を見つけていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも再開している地域行事に可能な限り職員が参加して立地区以外の地域に職員との顔繋ぎを行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議にて「認知症の理解」について勉強会を行う。また、利用者への対応方法や地域との繋がりについて地域住民としての意見をもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 「認知症の理解」について勉強会が行えて良かった。 外部評価の質問に対し、分からない内容があるので運営推進会議にて伝えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護度が記入されている為、介護度と通い回数や訪問回数のバランスが分かりやすい。 運営推進会議の資料に性別や集落名等を記入するとイメージがわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議資料に各利用者の情報を可能な限り記入する。また、運営推進会議にて各利用者の希望に対する取り組みを報告し、課題等を検討内容として議題に挙げる。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 防災計画の作成を行う。また高齢者を対象とした避難訓練について運営推進会議委員をはじめ福祉委員会等で地域の方と検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで事業所の防災訓練に参加したことがない。 今まででも事業所職員が地域の防災訓練に参加していたが、今後は職員が交代で参加すると良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難では高齢者や特に認知症の方への対応等で専門職の協力が必要となると思う。 有事の際の高齢者や障がい者の避難や避難場所での環境について地域、行政、事業所が連携して取り組んでいく必要があると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災計画、事業継続計画の策定に向け研修への参加を行い、進めていく。また、運営推進会議にて進捗状況の報告を行う。地域の防災訓練に職員が交代で参加する。

